

J A I P Aからは、N T T東日本・西日本と卸協議を行うことは困難との発言があった一方で、F V N O委員会からは、N T T東日本・西日本との協議が開始されたことに対する期待感が示された。この期待感は、今までの協議から何か変化があったことによるものなのか。

(西村真由美構成員)

(F V N O委員会回答)

第51回「接続料の算定等に関する研究会」でコメントした通り、本研究会においてF V N O委員会からプレゼンしたこと、及び本研究会での論議により、先日行われましたF V N O委員会(2021.12.14)において、N T T東西殿から「要望をカウントする仕組み」「結果をフィードバックする仕組み」について、具体的な実現方法を今後F V N O委員会と協議したい旨の見解が示されたところではありますが、期待感としては、やっとスタートラインに立てた状態と認識しており、N T T東西殿との協議の中で、今後どのようなやり方がベストかを議論していく中で具体化していき、課題あれば 研究会で改めて提示させて頂きたい。

また、「卸料金の内訳」「卸料金の中長期的な金額水準」などの開示や、「卸料金」についても協議いただけるよう対応に努めていく必要はまだあると認識しています。